

製品名: カタラーゼウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab07999

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス、魚
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	CAT
別名	CAT; Catalase
遺伝子 ID	847.0
SwissProt ID	P04040
免疫原	抗血清はヒト CAT の C 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 478-527

背景

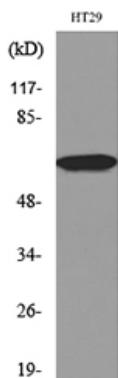
この遺伝子は、酸化ストレスに対する体の防御において重要な抗酸化酵素であるカタラーゼをコードしています。カタラーゼは、ほ

ほとんどの好気性細胞のペルオキシソームに存在するヘム酵素です。カタラーゼは活性酸素種である過酸化水素を水と酸素に変換し、過酸化水素の毒性作用を軽減します。酸化ストレスは、糖尿病、喘息、アルツハイマー病、全身性エリテマトーデス、関節リウマチ、がんなど、多くの慢性疾患や晩発性疾患の発症に関連していると考えられています。この遺伝子の多型はカタラーゼ活性の低下と関連していますが、現在のところ、この遺伝子によって引き起こされることが知られている疾患は無カタラーゼ血症のみです。[RefSeq 提供、2009年10月]、触媒活性: $2\text{H}_2\text{O}_2 = \text{O}_2 + 2\text{H}_2\text{O}$ 、補因子:ヘム基、補因子:NADP、疾患:カタラーゼ酵素の欠陥は、アカタラーゼ症 (ACATLAS) [MIM:115500]の原因です。アカタラーゼ血症としても知られています。この疾患は、赤血球中のカタラーゼ活性の欠如を特徴とし、しばしば口腔潰瘍を伴うことがあります。機能:ほとんどの好気呼吸生物に存在し、過酸化水素の毒性作用から細胞を保護する役割を果たします。T細胞、B細胞、骨髄性白血病細胞、黒色腫細胞、肥満細胞腫細胞、正常線維芽細胞および形質転換線維芽細胞などの細胞の成長を促進します。オンライン情報:カタラーゼエントリ、PTM:N末端がブロックされています。類似性:カタラーゼファミリーに属します。サブユニット:ホモテトラマー、

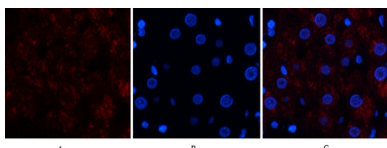
研究分野

トリプトファン代謝、メタン代謝、筋萎縮性側索硬化症 (ALS)

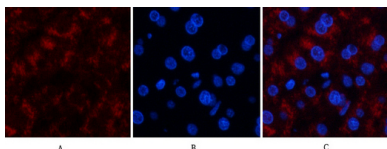
画像データ



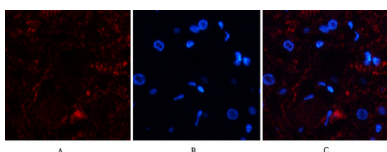
CAT 抗体を使用した HT29 細胞の溶解液のウェスタン ブロット分析。



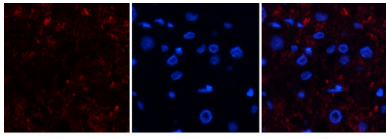
ヒト肝組織の免疫蛍光染色。1, カタラーゼポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



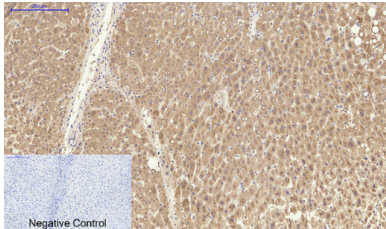
ヒト肝組織の免疫蛍光染色。1, カタラーゼポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



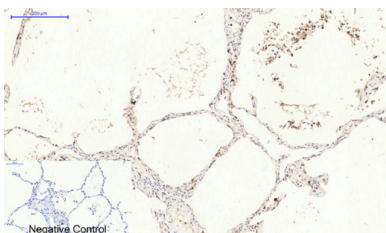
ヒト腎臓癌組織の免疫蛍光染色。1, カタラーゼポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: 標的。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



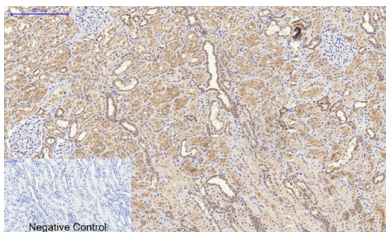
ヒト腎臓癌組織の免疫蛍光染色。1, カタラーゼポリクローナル抗体（赤）を 1:200 に希釈（4°C、一晚）。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈（室温、50 分）。3, 図 B: DAPI（青）10 分。図 A: 標的。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



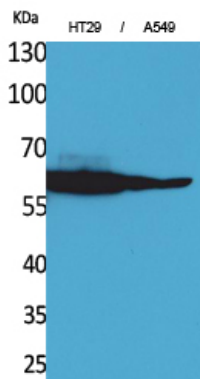
パラフィン包埋ヒト肝組織の免疫組織化学染色。1. カタラーゼポリクローナル抗体を 1:200 に希釈（4°C、一晚）。2. クエン酸ナトリウム（pH 6.0）を用いて抗体賦活化（>98°C、20 分）を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈（室温、30 分）。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。



パラフィン包埋ヒト肺組織の免疫組織化学染色。1. カタラーゼポリクローナル抗体を 1:200 に希釈（4°C、一晚）。2. クエン酸ナトリウム（pH 6.0）を用いて抗体賦活化（>98°C、20 分）を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈（室温、30 分）。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。



パラフィン包埋ヒト腎臓組織の免疫組織化学染色。1. カタラーゼポリクローナル抗体を 1:200 に希釈（4°C、一晚）。2. クエン酸ナトリウム（pH 6.0）を用いて抗体賦活化（>98°C、20 分）を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈（室温、30 分）。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。



カタラーゼポリクローナル抗体を用いた HT29、A549 細胞のウェスタンブロット解析。抗体は 1:1000 に希釈し、二次抗体は 1:20000 に希釈した。